

堅志学通信 令和3年度 第4号

※堅志学とは三原高校における「総合的な探究の時間」の呼称です。

三原高校^{けんしがく}の堅志学では、
三原市のシティプロモーションを市
と協力して展開するプロジェクトを
昨年度から進めています。

4つのチームがそれぞれ三原市を
PRしながら、自分たちの考える三
原の課題の解決を図るために、オリジナルの動画制作を行っています。今回は中間発表として市役所でプレゼンテーションを行いました。

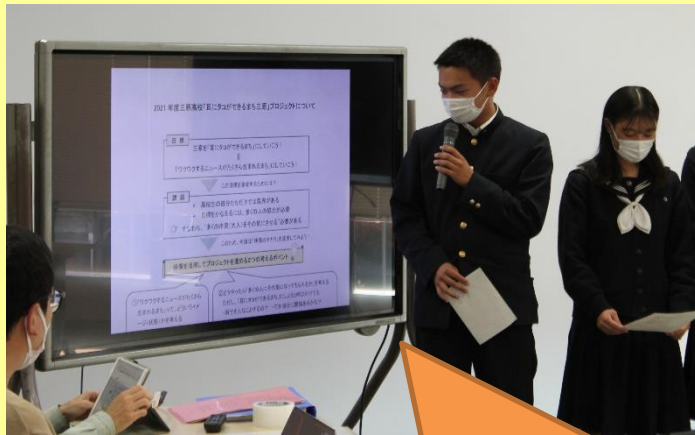
三原市のシティプロモーションとは？

「まちの魅力を市民、企業等の活動等から見出し、市役所がその活動に参加し支援することなどに取り組み、その内容やプロセスを市内外に情報発信することで、市民が三原に住むことに魅力を感じるという「共感」と、市外の人が三原という地域に魅力を感じるという「共感」を生み出す取組を進めています。」 出典：三原市シティプロモーション戦略より

授業の風景や生徒の学びの様子



プレゼン用に作成した PowerPoint 資料を直前まで確認して、準備に取り組んでいます。



今年は「**耳にタコができるまち三原**」というキャッチコピーを設定し、市役所や地元企業、団体の方と協力しながらプロジェクトを進めています。

ラップ×三原の魅力

三原市立第五中学校出身の先輩の発表
『地元で活動する若手ラップグループ「GORGON」さんとコラボして、全国でも類を見ない「ラップによる地域の魅力」の発信を目指しています。成功すれば全国的にもインパクトがあるPRになるし、何より地元で頑張る若者の存在を地域の人にも知ってもらいたいです。』



三原市立第四中学校出身の生徒の発表
『自分たちの視点でまず地元にある魅力を「発見」し、それを全国の若い世代をターゲットに発信します。』



「明日（土曜日）、GORGONさんとの打ち合わせをします。岡田市長も一緒にどうですか？」という生徒からの誘いを快諾して下さった市長。生徒の熱心さに、なんと市長も休日に1時間以上、生徒と一緒に活動してくださいました。